

## 第3編

# 道民会議等の取組

# 第1章 概要

## 1 取組の基本的な考え方

サミットの成功とサミットを契機とした北海道の活性化に向けて、官民一体となって地元として最大限の協力・支援につとめ、道民一人ひとりが想いをひとつにおもてなしの心を持ってお迎えするため、平成19(2007)年9月に道民会議の事業計画「2008年夏、北海道が未来の扉になる。」を策定し、「開催支援」、「北海道発信」、「おもてなし」、「未来」の4つのテーマに基づき、さまざまな取組を展開した。

一つ目のテーマの「開催支援」としては、宿泊・輸送サービスの円滑な提供やインフォメーション機能の整備など、受入準備に対する開催地として最大限の支援・協力への取組を行った。

二つ目のテーマの「北海道発信」としては、ポータルサイトの構築運営や情報誌の制作、大使館や外国報道機関等を対象としたレセプションの開催、道内各地を紹介するプレスツアーの実施や国際メディアセンターでの北海道情報館の開設など、国内外への積極的な北海道情報の発信に努めた。

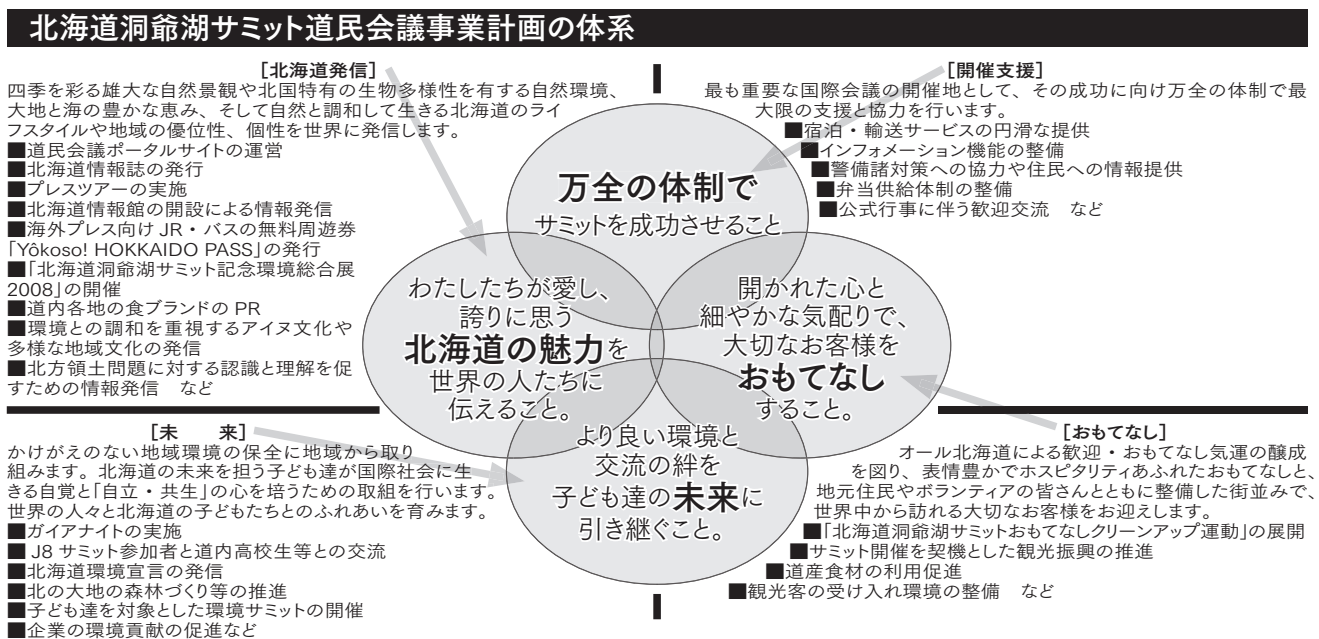
また、事業計画においてサミットを契機として活性化を図る重点分野として、①環境、②食、③

観光、④芸術文化を掲げ、道及び市町村等との緊密な連携により様々な取組を展開した。

三つ目のテーマの「おもてなし」としては、国や道内市町村、民間企業等と連携しながらシンボルマークの普及やポスター、リーフレットなどの各種広報媒体の制作など、開催気運の醸成を図ったほか、全道的なクリーンアップ運動の展開、サミット開催を契機とした観光振興、道産食材の利用促進の取組を行った。

四つ目のテーマである、サミット終了後を視野に入れた「未来」として、「ガイアナイト」の実施やJ8サミット参加者と道内高校生等との交流、「北海道環境宣言」の発信をはじめとする環境に関する取組の推進、また、道内市町村とG8各国との交流の絆を育む様々な取組を進めた。

道民会議の具体的な事業内容においては、①道民会議が主導的に企画推進する取組(道民会議事業)に加え、②サミットを契機とした道や市町村における取組や、国、市町村、民間団体等と道民会議が連携協力して実施する取組(連携事業)、③民間企業等における道民会議活動等の推進に資する取組(協賛・応援事業)を推進することとし、官民を挙げて総合的、一体的にサミットの支援と北海道の活性化に取り組んだ。



## 2 企業、団体等との協働の推進

### (1) 寄附

道民会議では、サミットが本道で開催されるにあたり、官民一体による北海道全体の受入体制を確立するとともに、併せて関連する事業の実施により今後の北海道の活性化に資するため、道内外各界各層の企業、団体、個人に寄附等を募った。

寄附の仕組みについては、平成19年12月に施行した「寄附等要綱」により、寄附金、物品の寄附及び無償による物品の借入れの3種の仕組みを設けた。

寄附金の用途は道民会議が行う事業に資するために活用するものとし、具体的には、北海道に寄附をいただき、北海道から道民会議へ負担金として支出することとした。また、物品の寄附及び無償による物品の借入れについては、道民会議へ直接おこなっていただくこととし、これらの寄附申込み時期は、平成19年12月12日(水)から平成20(2008)年7月31日(木)までとした。これら寄附の周知及び依頼に当たっては、道内経済・産業団体から当該団体の傘下企業・団体等へ周知いただいたほか、道民会議ポータルサイトでも呼び

かけを行った。

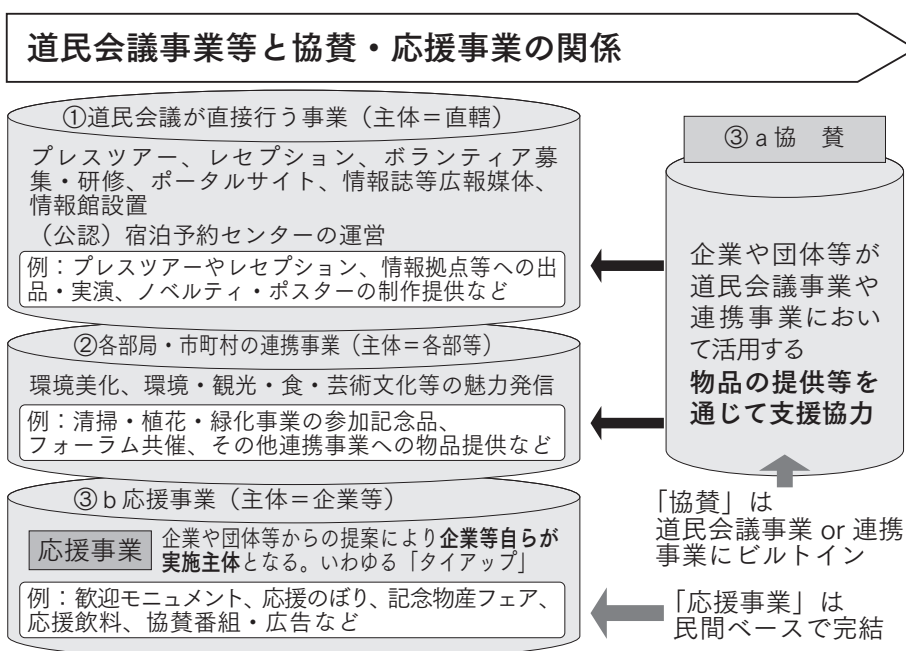
こうした取組により、寄附金は1,583件で計2億8,729万8,532円となり、物品の寄附等は85件となった。(寄附者名簿はP186を参照)

### (2) 協賛・応援の推進等

民間企業等が有する資源(アイデア、ノウハウ、資金等)を積極的に取り入れながら、効果的な事業展開を図るため、道民会議では様々な分野で民間企業等との協働の取組を積極的に展開した。

道民会議事業の展開に当たっては、公式ポータルサイトの開設運営、公式ポスターや北海道情報誌の制作に際して、受託者等が広告収入等により必要な財源を確保する手法により行ったほか、「宿泊予約センター」の設置や「弁当供給センター」の委託に際しても、民間事業者の経営資源を活かし、観光振興や道産食材の活用、環境配慮の取組の促進を図った。

また、サミットの誘致が決定して以来、非常に多くの企業等から様々な提案が寄せられたことを踏まえ、平成19年9月、企業等から協賛・応援いただきたい項目や手続き等を明らかにした

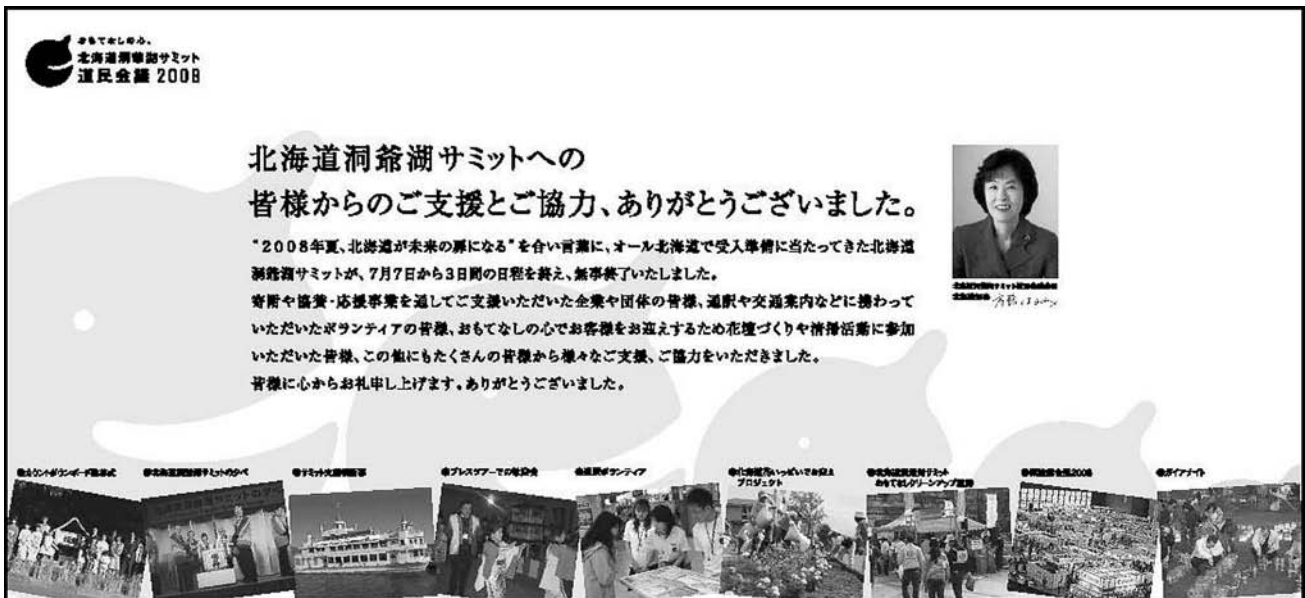


「協賛・応援事業に関する提案募集要領」を制定し、道民会議事業への協賛物品等の提供や、企業等自らが実施主体となる応援事業の促進を図った。

これにより、カウントダウンボードの設置等各種広報資材・物品の提供や応援記念商品の発売と売上の一部寄附、レセプション等への食材・飲料の提供や人材の派遣、サミット記念イベントの開催や歓迎広告の実施など各社の創意工夫による多様な提案が寄せられ、236企業・団体、365項目による協賛・応援事業が実施された。

このほか、シンボルマークの使用による歓迎気運の盛り上げや、通訳・交通案内ボランティア、花壇づくり・清掃活動への参加など、多くの道民、企業・団体から様々な支援・協力をいただいた。これらを踏まえ、そのことを関係者の記憶に残し、今後の官民協働の取組に継承されるよう、サミット終了直後の7月10日(木)、全道に配付される新聞5紙及び北海道地方新聞協会に属する13の地方紙にサンクスメッセージを掲載した。

【7月10日に新聞掲載したサンクスメッセージ】



## 第2章 開催支援

### 1 サミットの円滑な開催に向けた地域との連携

#### (1) 北海道洞爺湖サミットに関する地域住民懇話会

北海道洞爺湖サミットに関する情報を地元関係団体・住民に提供し、サミット開催に対する理解促進と歓迎気運を醸成するとともに、住民等が有する疑問や課題を聴取し、その解決を促進することによりサミットの円滑な開催に資することを目的に「北海道洞爺湖サミットに関する地域住民懇話会」を道及び関係市町村の共催により開催した。合計13回開催し、606名の住民等の参加があった。

##### 【平成19年度の開催状況】

	日時・場所・住民側参加者
洞爺湖町	平成19年8月29日(水)10:00－ 洞爺湖町役場 町民会議構成員27名
壮瞥町	平成19年8月30日(木)10:00－ 壮瞥町公民館 町民会議構成員23名
豊浦町	平成19年8月30日(木)10:00－ 豊浦町地域交流センター 町民会議構成員64名
留寿都村	平成19年10月15日(月)14:00－ 留寿都村役場 村民会議構成員22名
伊達市	平成20年3月10日(月)14:20－ 伊達市防災センター 市民会議構成員80名

##### 《内 容》

〈洞爺湖町、壮瞥町、豊浦町〉

- (1) G8 サミットの概要について(北海道)
- (2) ドイツ・ハイリゲンダムサミット調査報告について(北海道)
- (3) 北海道洞爺湖サミット道民会議の活動状況について(道民会議)
- (4) 意見交換

- ・サミット開催による漁業、農業などの産業活動や住民生活への影響について質疑があった。

〈留寿都村〉

- (1) G8 サミットの概要とドイツ・ハイリゲンダムサミット調査報告について(北海道)
- (2) 北海道洞爺湖サミット道民会議の活動状況について(道民会議)
- (3) 北海道洞爺湖サミット宿泊予約センターの設置について(道民会議)
- (4) 国際メディアセンターの設置について(北海道)
- (5) 意見交換
  - ・警備、交通規制や通信インフラ整備などについて質疑があった。

〈伊達市〉

- (1) サミットに関する情勢について(外務省)
- (2) 警備に関する情勢について(北海道警察本部)
- (3) 北海道洞爺湖サミットに向けた取組みについて(北海道)

##### 【平成20年度の開催状況】

	日時・場所・住民側参加者
伊達市	平成20年6月4日(水)14:30－ 伊達市防災センター 市民会議構成員71名
洞爺湖町	平成20年6月5日(木)10:00－ 洞爺湖町役場 町民会議構成員60名
登別市	平成20年6月9日(月)14:30－ 登別市民会館 市民会議構成員38名
豊浦町	平成20年6月10日(火)10:00－ 豊浦町地域交流センター 関係団体、住民75名
壮瞥町	平成20年6月10日(火)14:30－ 壮瞥町公民館 町民会議構成員55名
留寿都村	平成20年6月11日(水)10:00－ 留寿都村役場 村民会議構成員17名
真狩村	平成20年6月11日(水)14:30－ 真狩村公民館 村民会議構成員40名
ニセコ町	平成20年6月12日(木)13:30－ ニセコ町民センター 町サミット対策会議構成員34名

《内 容(各市町村共通)》

- (1)サミットに向けた準備状況について(外務省)
- (2)サミット開催期間中における警察措置について(北海道警察本部)
- (3)サミットにおける海上警備について～伊達市、洞爺湖町、登別市、豊浦町(第一管区海上保安本部)
- (4)意見交換

- ・サミット期間中の交通規制、警備内容、サミット関連行事などについて質疑があった。



(2)北海道洞爺湖サミット市町村関係者懇話会

サミットの成功に向け、外務省など関係省庁と道が、洞爺湖周辺及びルスツリゾート周辺の地元関係者と意見交換を行い、地域が抱える疑問・課題等を解決することにより、サミットの円滑な開催に資することを目的として、北海道の主催により「北海道洞爺湖サミット市町村関係者懇話会」を開催した。



【開催状況】

日 時	平成19年12月18日(火)14:00-16:00	
場 所	ルスツリゾートホテル	
出席者	地元関係者	118名
	対 象	伊達市、ニセコ町、留寿都村、倶知安町、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町
	対象者	行政機関(市町村、市町村議会、教育委員会、消防署、駐在所等)、経済団体(観光協会、商工会、農協、漁協、旅館組合、飲食店組合等)、住民団体(自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、校長会、PTA、文化団体、体育協会、防犯協会、交通安全協会、女性団体、青年団体等)
	外務省	深田G8サミット準備事務局長 ほか
	警察庁	五十嵐官房審議官 ほか
	海上保安庁	石橋警備救難部長 新城第一管区本部警備救難部長 ほか
	北海道警察本部	松本警備部長 ほか
	北海道	前川参事監 ほか

【内 容】

- ・説明：サミットに向けた準備状況について  
(外務省)
- サミットをめぐる警備情勢等について  
(警察庁)
- サミットにおける海上警備について  
(海上保安庁)
- ・意見交換  
配偶者プログラムの決定時期、警備内容などについて質疑があった。

(3)北海道洞爺湖サミット懇話会

サミットの成功に向け、外務省など関係省庁と道、関係市町村の一層の連携を図るとともに、各機関の取組状況等を道民に対し広くPRすることを目的とし、北海道の主催により「北海道洞爺湖サミット懇話会」を開催した。

## 【開催状況】

日 時	平成20年5月19日(月)15:30-16:50
場 所	ホテル ポールスター札幌
出席者	関係市町村長
胆振	新宮室蘭市長、上野登別市長、 菊谷伊達市長、工藤豊浦町長、 山中壮警町長、長崎洞爺湖町長
後志	宮谷内蘭越町長、佐藤ニセコ町 長、佐々木真狩村長、澤留寿都 村長、菅原喜茂別町長、山崎京 極町長、福島俱知安町長
石狩	上田札幌市長、山口千歳市長
外務省	梨田経済局政策課長
警察庁	五十嵐官房審議官
海上保安庁	城野警備救難部長、星島第一管 区海上保安本部長
北海道警察本部	高橋本部長、松本警備部長
北海道	高橋知事、山本副知事、前川参 事監



## 【内容】

- ・説明：
  - ・サミットに向けた準備状況について  
(外務省)
  - ・サミットをめぐる警備情勢等について  
(警察庁・道警本部)
  - ・サミットにおける海上警備について  
(海上保安庁・一管本部)
  - ・地域の取組について
- 北海道の取組
  - 道民会議の取組について
  - 胆振地域の取組
    - 胆振地域推進会議の取組について
  - 後志地域の取組
    - 後志支庁サミット推進会議の取組に  
ついて
- ・意見交換等
  - 上田札幌市長、山口千歳市長、長崎洞爺湖  
町長、澤留寿都村長、佐々木真狩村長から歓  
迎事業の準備状況などについて報告があった。

## 2 宿泊予約センター

サミットの開催にあたり、集中的に来道する関係者に対し、安定的かつ効率的に宿泊サービスを提供するため、民間事業者の協力により、道民会議公認の機関「北海道洞爺湖サミット宿泊予約センター」を設置した。

宿泊予約センターは、主要業務として、宿泊施設と客室の需給調整や配宿を行ったほか、宿泊施設への支援や観光振興への貢献として、外国人客へのおもてなし向上のためのセミナーを開催するとともに、運営事業者4社共同によるサミット開催前後の観光プロモーションなどの取組を行った。

### (1)業務運営状況

#### 【運営事業者の選定方法】

平成19年7月に、旅行業ノウハウを有する民間事業者から企画提案を公募し、経済団体やサミット開催地市町村の職員等からなる審査会を経て、8月に決定した。

#### 【運営事業者】

(株)JTB北海道、(株)日本旅行北海道、近畿日本ツーリスト(株)、北海道旅客鉄道(株)のコンソーシアム

#### 【設置期間】

平成19年10月1日(月)

—平成20年9月30日(火)

#### 【取扱対象者】

G8各国代表団、日本政府関係者、報道関係者(登録のあった一部のNGO含む。)、警備関係者、消防関係者、開催支援事業者等

#### 【業務内容】

提供客室数の確認、ホームページ開設等での情報提供、仮予約受付と配宿、予約・精算等の取次ぎ、インフォメーション機能の設営等

#### 【取扱件数】 延べ 約50万3,000人泊

#### 【取扱状況】

宿泊者数の最大は、7月8日(火)の25,064名

で、次いで7日と6日が約24,000名、9日が約23,000名、5日が約22,000名となった。

#### 《職種毎の内訳》

区分	宿泊期間	日数	延べ人泊
政府代表団	6/22－7/11	20	約5,700
同行プレス	7/1－7/10	10	約2,000
一般プレス	6/23－7/11	19	約7,600
支援事業者	5/18－7/25	69	約37,000

なお、宿泊予約センターを経由せずに、直接、宿泊施設に予約したサミット関係者の延べ宿泊数は、道民会議の独自調査によると、約13,000人泊と見込まれる。

#### 【主な宿泊先】

##### ・G8各国首脳及び代表団

宿泊先	宿泊国
ザ・ウィンザーホテル洞爺	G8各国首脳
洞爺サンパレス	カナダ、フランス、ドイツ、イタリア各国代表団
洞爺湖畔亭	ロシア代表団
洞爺湖温泉 北海ホテル	英国代表団
洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラス	アメリカ代表団
登別温泉 登別グランドホテル	
フェニックス洞爺クラブ	欧州連合代表団

##### ・アウトリーチ各国首脳及び代表団

宿泊先	宿泊国
札幌グランドホテル	アルジェリア首脳、メキシコ首脳及び代表団
ホテルオークラ札幌	ナイジェリア首脳及び代表団
札幌パークホテル	南アフリカ首脳及び代表団
札幌プリンスホテル	オーストラリア首脳及び代表団、インド首脳及び代表団
ホテルロイトン札幌	ブラジル首脳及び代表団、国連など4国際機関
ルネッサンスサッポロホテル	中国首脳及び代表団
望楼NOGUCHI登別	中国首脳
登別石水亭	中国代表団
札幌後楽園ホテル	インドネシア首脳及び代表団
京王プラザホテル札幌	韓国首脳及び代表団、アルジェリア代表団
札幌全日空ホテル	メキシコ代表団



・報道・警備・消防・開催支援業者等関係者

留寿都村、ニセコ町、倶知安町、洞爺湖町、  
壮瞥町、登別市、札幌市等 10市16町2村の  
ホテル等

## (2)各種支援・観光振興の取組

### ア 宿泊予約センターWeb サイト開設

平成19年11月、宿泊希望者の申込受付や、  
観光ガイド、アクセス等の紹介を行うWebサ  
イトを開設した。



宿泊予約センターWebサイトのトップページ

### イ 宿泊施設説明会の開催等

洞爺湖畔、留寿都村、ニセコ地区などの宿泊  
施設を対象に、平成19年12月、道内9ヵ所に  
おいて、宿泊予約センターの機能や宿泊客の受  
入に当たっての留意事項等についての説明会を  
道民会議と共同で開催した。

なお、サミット時期の規制を避けたい道外及  
び海外の旅行代理店等の動向を心配する宿泊施  
設からの声を踏まえ、道民会議からは、全国的  
な旅行業団体に対し、サミット期間中における  
一般客の予約受付に関する的確な情報の周知を  
依頼し、風評被害の防止に努めた。

### ウ 外国人のおもてなし向上のための研修 の実施

#### 【「外国人おもなしセミナー」の開催】

- ・期日 平成20年3月11日(火)
- ・場所 洞爺湖町内
- ・内容 関係各国の食事・国民性等の情報提  
供、外国人客接客基本マニュアルの

配付

なお、宿泊予約センターによる研修以外に  
も、国や道、観光団体等により、洞爺湖地区  
等の宿泊施設を対象に、おもてなしや環境配  
慮を高めるセミナーや講習会が数多く開催さ  
れた。

### エ サミット開催前の観光プロモーション の実施

#### 【無料バス「有珠号」の運行】

- ・期間 平成20年4月1日(火)  
— 6月30日(月)
- ・内容 JR洞爺駅と運営事業者4社が提供  
する洞爺湖温泉パックの旅行者が、  
洞爺湖周辺の観光スポットを周遊す  
る無料バスを利用できる旅行プラン
- ・実績 利用客数200名

#### 【エコミュージアム・ジオツアー】

- ・期間 平成20年6月7日(土)～8日(日)
- ・内容 サミット開催30日前に、洞爺湖町、  
壮瞥町、豊浦町、伊達市の火山災害  
遺構や記念施設、史跡を視察し、岡  
田北大名誉教授からの解説を受ける、  
地球と人の営みを考える4社共同  
企画ツアー
- ・実績 利用客数79名

#### 【「ぐるっと洞爺クリーンアップ作戦」との連動】

- ・期間 平成20年5月11日(日)
- ・内容 洞爺湖周辺を清掃し、温泉と昼食を  
楽しむツアー(主催：(株)JTB北海道、  
北海道洞爺湖サミット胆振地域推進  
会議)
- ・実績 利用客数349名

### オ サミット開催中の取組

7月5日から7月10日まで、国際メディア  
センターが設置されたルスツリゾートホテル  
内に道民会議・宿泊予約センター・航空会社  
(JAL、ANA)が共同で「トラベルサポートデス

ク]を設置し、報道関係者等の宿泊変更等や、航空券、レンタカー・タクシーの手配等の支援を行った。



トラベルサポートデスクの様子

## カ サミット開催後の観光客の誘致

### 【4社共同登別・洞爺周遊バスの運行と旅行企画】

- ・期間 平成20年9月1日(月)
  - － 11月3日(月)
- ・内容 サミットの余韻を楽しむ登別温泉を拠点として、洞爺湖周遊を組み込んだ4社共同企画

### 【シャトルバス等の運行】

区分	期間	区間	運行間隔等
レークヒルシャトルバス	7月1日－10日	レークヒルファーム※1 ↔ザ・ウィンザーホテル洞爺	所要時間10分
国際メディアセンターシャトルバス	7月1日－10日	国際メディアセンター↔ルスツタワー※2	15分間隔(24時－6時は30分間隔)で運行
	7月5日－10日	国際メディアセンター ↔ニセコひらふ地区 ↔ニセコ東山地区 ↔ニセコ昆布温泉地区	20分間隔(24時－6時は60分間隔)で運行
	7月5日－10日	国際メディアセンター↔洞爺湖温泉地区	60分間隔(24時－6時は運休)で運行
代表取材用バス	首脳会議場での行事に合わせて運行	国際メディアセンター →レイクヒルファーム→ゴンドラ「レイクキャビン」 ※3→国際メディアセンター	
	新千歳空港での行事に合わせて運行	国際メディアセンター↔新千歳空港	
	配偶者プログラムに合わせて運行	国際メディアセンター↔真狩村(7月8日) 国際メディアセンター↔洞爺湖畔(7月9日)	

※1 「レイクヒルファーム」は首脳会議場への登坂路の入口付近に位置し、ここに政府の関門チェックポイントが設置された。

※2 「ルスツタワー」は国際メディアセンターの国道をはさんだ向かい側に位置するルスツリゾートの宿泊棟。

※3 ゴンドラ「レイクキャビン」は首脳会議場(山頂駅)と洞爺湖畔方面(山麓駅)を結ぶリフトで、報道関係者等の移動に使用された。

### 【各種バスの利用実績(宿泊予約センター取扱分)】

区分	期間	区間	利用実績
ルスツリゾート・ビッグランズ号	7月4日－7日	新千歳空港→ルスツリゾートタワー	1日7便4日間で計128名 うち増便2便分4日間で計18名
	7月9日－11日	ルスツリゾートタワー→新千歳空港	1日5便3日間で計64名 うち増便1便分3日間で計30名
千歳～ニセコ線(中央バス) (停留所5カ所を増設して特別便として運行)	7月4日－7日	新千歳空港→ニセコ	1日2便増便した特別便4日間で計113名
	7月9日－11日	ニセコ→新千歳空港	1日2便増便した特別便3日間で計55名

## 3 輸 送

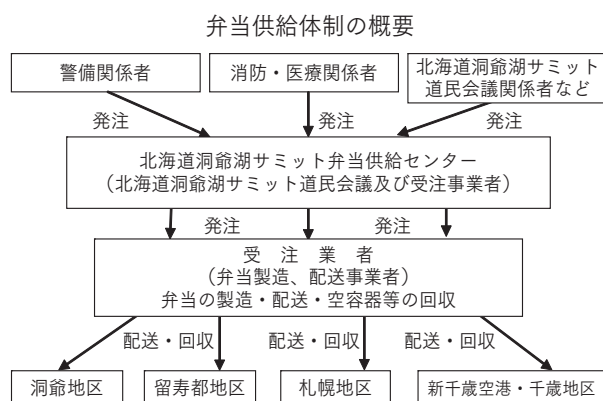
国は、各国の首脳や要人の移動に際し新千歳空港や丘珠空港と本会議場の間については天候や運用上の制限がない限り輸送用ヘリコプターにより送迎し、それ以外は車列により送迎した。

また、主に報道関係者等の移動を支援するため、主要道路とのチェックポイントから首脳会議会場へ至る区間をはじめ、ニセコや洞爺湖温泉など主要宿泊地から業務会場であるルスツの国際メディアセンターへ至る区間などに環境配慮型のシャトルバス(燃料・動力が、水素、電気(併用)、CNG(圧縮天然ガス)、バイオディーゼル等のバス)を運行した。道民会議では、これら国の取組に対して、各地域間の移動ルートに係る基本情報、道内の車両保有状況、ヘリコプター運航等に関わる気象条件等の情報を提供するなどの協力・支援を行った。

また、バス会社等の協力を得て、新千歳空港からルスツ、ニセコ等への定期路線停留所の新設や、夜間航空便の到着時刻や出発時刻に合わせた路線増便を行い、宿泊予約センターと連携して、予約申し込みの対応を行った。

## 4 弁当供給センター

首脳会議場の洞爺湖近隣や国際メディアセンターが設置された留寿都村、交通の拠点となった新千歳空港近隣やアウトリーチ国・国際機関の要人が宿泊した札幌市内などにおいて、警備・消防・医療・現地スタッフ等に対し、安全で安心な食事を大量に継続して供給できる体制を確保するため、道民会議と弁当供給業務事業者を構成員とする「北海道洞爺湖サミット弁当供給センター」を設置し、弁当の供給を行った。



### (1) 弁当供給業務の事前説明会

プロポーザルの公募にあたっては、広く事業者に対して、沖縄サミットの事例や衛生管理の考え方等について周知するため、保健福祉部の協力のもと、上川・胆振・空知・後志の各支庁及び札幌市において事前の説明会を行った。

### (2) 弁当供給業務委託

#### 【弁当供給業務事業者の選定】

- ・公募型プロポーザル方式(2月に実施)  
(弁当製造・配送能力、食品衛生対策に加え道産食材の活用、環境配慮等を評価項目とした。)
- ・発注者：道民会議

#### 【委託協定の業務内容】

弁当の受注・製造・配送及び空容器等の回収等

#### 【弁当供給業務事業者】

- ・(株)セブン-イレブン・ジャパンを代表とする

コンソーシアム(構成員：(株)弁釜、わらべや北海道(株)、(株)エフビーエス、(株)ヤマカ山加運輸)

- ・(株)ローソンを代表とするコンソーシアム(構成員：(株)彩香、エア・ウォーター物流(株)札幌食品営業所、共通運送(株)、(株)フードサービスネットワーク札幌 CDC)

【協定期間】 平成20年3月31日－10月31日

【委託料】 無料

### (3) 弁当供給の実績

【供給期間】 平成20年4月7日－7月15日

【料金設定】 朝400円、昼700円、夜600円

#### 【供給実績】

総供給数		約51.7万食
内訳	警察関係者	約50.4万食
	消防関係者	約0.7万食
	外務省関係者・民間企業等	約0.6万食

サミット期間中のピーク時には、約37,000食/日の供給を行なった。

### (4) 北海道産食材の使用等

弁当供給業務事業者の選定に際し、道産米、道産食材の活用と長期滞在者にも飽きさせないメニューとする工夫を求めたため、ご飯は全て道産米が使用され、魚介や肉、野菜などについても道産食材をふんだんに使用するとともに、レンジ加熱なしでも美味しい多彩なメニューが数多く開発された。また、弁当供給業務事業者が東京都内、道内においてサミット弁当フェアを行うなど道産食材の魅力をPRする応援事業も展開された。



道産食材をふんだんに使用したサミット弁当  
(写真左：「十勝牛めし弁当」、右：「稚内港陸揚カニ飯」)

## (5)環境配慮に関する取組

空容器等の回収・リサイクルを行ったほか、簡易包装などによるゴミの減量化や生育の早い竹を使った割箸の使用や、弁当調理等で排出される廃食用油をバイオディーゼル燃料に精製して配送車両に使用しCO<sub>2</sub>排出削減を図るなど、各事業者の創意工夫による環境配慮の取組が行われた。

## 5 インフォメーション

道民会議では、世界各国からの来道者をおもてなしの心でお迎えするため、地元支援の一環として、インフォメーション機能を充実することとした。このうち、多くの外国人の滞在が予定された洞爺地区、ニセコ地区、札幌地区及び留寿都地区の移動支援や観光情報提供等の滞在支援は地元自治体等が、また、新千歳空港におけるバス乗り場への誘導等移動支援は関係団体と連携し道民会議が、それぞれ、その役割を担うこととした。

### (1)洞爺地区

胆振支庁管内の11自治体と胆振支庁を構成メンバーとする「北海道洞爺湖サミット胆振地域推進会議」は、7月1日(火)から10日(木)まで、温泉街中心にある営業休止ホテルを活用し、インフォメーション・滞在支援などを行った。(詳細は、P138を参照)

### (2)ニセコ地区

ニセコ地区は、オーストラリアをはじめ多くの外国人が来訪・滞在し、外国人の受入体制整備が進んでいる地域であり、既存のインフォメーション機能を活用するとともに、サミット期間中の来訪者の増加を想定し、JRニセコ駅内のニセコ観光案内所及びニセコビュープラザ(道の駅)に、外国語対応が可能な職員を増員して対応した。印刷物についても、英語のほか、韓国語・中国語(簡体字・繁体字)を備えたパンフレット等を準備・配布した。

### (3)札幌地区

札幌市では、サミットにあわせて札幌を訪問する方々へのおもてなしを検討するため、官民一体となり「北海道洞爺湖サミット札幌おもてなし委員会」を立ち上げ、札幌駅、大通、すすきの周辺のインフォメーションについて、同委員会の参加

団体と連携して対応した。

JR 札幌駅西口コンコースのイベント広場に設置した「サミット広場」「さっぽろホスピタリティスペース」においては、北海道さっぽろ観光案内所と連動したインフォメーションを行うとともに、多くの市民が主体となり、体験・交流イベントを実施した。期間中、アイヌ、茶道などの日本文化紹介をはじめ、様々な体験・交流イベントが行われた。



札幌駅西口でのインフォメーション

#### (4)留寿都地区

国際メディアセンターを利用する報道関係者に対する館内の施設案内や周辺観光案内等については、ルスツリゾートが対応した。

また、館内に宿泊予約センター及び航空会社がトラベルサポートデスクを設置し、宿泊及び航空券の新規予約や変更等に対応した。



ルスツリゾートのトラベルサポートデスク

#### (5)新千歳空港

サミット関係者は、本道到着後、速やかに宿泊先や国際メディアセンター等に向かうことが想定されたことから、迅速で正確な移動支援を主目的にしたほか、空港施設案内及び観光案内等を行った。サミットに向けては、外務省、北海道空港(株)、空港ターミナルビル内の総合インフォメーションを運営する(株)HKI アクシスや宿泊予約センター等関係先と平成20年1月から当日の体制整備について検討を重ねた。

当日は、空港ターミナルビル1階の到着口付近の4箇所に通訳ボランティアを配置し、空港の総合インフォメーションと連携して対応にあたった。

通訳ボランティアの活動期間は7月1日(火) - 10日(木)の10日間で、シフトは早番(9時 - 15時)、遅番(15時 - 21時半)の2交代とした。

1チームは、シニアボランティア1名と学生ボランティア3名を基本とし、空港到着口4カ所を2~4チームで対応した。

活動内容は、空港内施設の案内やサミット関連施設への移動支援等を行うほか、国際メディアセンター等へ向かうシャトルバス(エアポート・エクスプレスバス)や交通機関の情報提供、海外メディアを対象としたYokoso! HOKKAIDO PASSの受付やPRを行った。



案内をするボランティア



Yokoso! HOKKAIDO PASS 受付デスク



Yokoso! HOKKAISO PASS を申し込む海外メディア

活動にあたっては、ボランティア用ウェア(Tシャツ・ジャンパー)を着用することとした。ウェアは、東レ(株)より協賛をいただき、環境省グリーン購入法・環境物品であるポリ乳酸繊維(エコディア)を使用したもので、道民会議シンボルマークやアイヌ文様がデザインされている。

空港到着口付近に設置したインフォメーションデスクは、合同容器(株)に段ボール素材を利用した環境配慮の製品を作成・提供いただいた。また、ミルクコミュニティー(株)及び雪印乳業(株)からは、道民会議空港ターミナル実施本部における来客やボランティアのため、乳酸飲料のカツゲンや牛乳を提供いただいた。

## 6 道民会議ボランティア

### (1)募集

道民会議では、新千歳空港において交通機関や空港内施設案内等を行う通訳ボランティアを、平成19年12月、道民会議の構成員である国公立大学協会北海道支部及び私立大学協会北海道支部を通じて募集した。

これにより、8大学(北海道大学、北海道教育大学、小樽商科大学、室蘭工業大学、北星学園大学、札幌大学、札幌学院大学、酪農学園大学)より、83名の方に応募いただいた。

【応募資格】次の条件を全て満たす方。

- (1)「2008年G8北海道洞爺湖サミット」の開催趣旨に賛同し、協力できる方。
- (2)ボランティアとして、責任と自覚をもって、活動日および活動時間、活動内容に関する指示・約束事を遵守できる方。
- (3)2008年6月1日現在、満20歳以上の方。
- (4)活動日が1日以上の方(但し、配置に際しては、連続して活動できる方を優先)。
- (5)英語で円滑なコミュニケーションができる方(概ね、TOEIC600点、TOEFL450点、英検2級レベル以上)。
- (6)研修及び打合せに必ず参加できる方。
- (7)公共交通機関を利用して活動できる方。
- (8)当事務局が指示する各業務に応じた服装で活動できる方。

【活動期間】平成20年7月1日(火)～10日(木)

【活動時間】概ね9時から19時までを想定。

【活動内容】移動に関する案内・通訳、道民会議事業のPR、資料の準備・配布 等

【活動場所】新千歳空港

【活動条件】

- (1)報酬 なし
- (2)交通費・弁当 支給
- (3)ボランティア活動保険 道民会議で加入

また、すでに協賛・応援をいただいていた団体(JAL スチュワーデス OG 会、(社)北方圏センター、北海道大学、室蘭工業大学、北星学園大学、札幌大学)より、シニアボランティアとして、経験豊富な社会人20名に応募いただいた。

## (2)研修

### 【第1回：接遇研修】

日時：平成20年5月17日(土)

13:00 - 16:00

場所：北海道庁別館及び北海道庁赤れんが庁舎

内容：JAL スチュワーデス OG 会の協力によりウェルカム・マインド(接遇)研修を開催した。講師は、元客室乗務員の牧野氏、高瀬氏、斉藤氏、山本氏の4名で、「各国からのお客様をお迎えするために」をテーマに、身だしなみのポイントや外国人への対応の留意点等の講義や参加者同士によるロールプレイングで、あいさつ(おじぎ)・姿勢・表情・言葉遣い・身だしなみ等を学んだ。



講師の話に熱心に聞くボランティア

### 【第2回：語学研修】

日時：5月31日(土) 13:00 - 16:00

場所：新千歳空港ターミナルビル

内容：(財)日本国際協力センター(JICE)の協力により、藤原北海道支所研修監理員を講師に招き、簡単なアクティビティーを行い、言葉や文化の違いや、コミュニケーションを図ることの難しさや世界の国々の多様な状況を学んだ。

また、(独)国際協力機構札幌国際センター(JICA 札幌)の協力により、同センターに滞在中の外国人研修生11名(ニジェール、アルバニア、ヨルダン等)に、サミット期間中に空港を訪れる外国人役

になっていただき、空港施設やサミット会場等を案内する実践的なトレーニングを行った。



研修生に空港施設の説明をするボランティア

### 【第3回：最終打合せ及び結団式】

日時：6月14日(土) 13:00 - 15:15

場所：北海道庁赤れんが庁舎

内容：サミットの概要や実践における必要最低限の情報をとりまとめたハンドブックに基づき、説明を行った。

結団式では、ボランティア代表が「おもてなしの心で、外国からのお客様をお迎えしましょう。」と挨拶し、結団式後、事務局からボランティア登録証とスタッフウェアが各ボランティアに手渡された。



集合写真

### 【第4回：解散式】

日時：7月25日(金) 15:00 - 17:00

場所：札幌後楽園ホテル

内容：山本副知事より、シニアボランティア代表に、道民会議会長名の感謝状(英文)を

贈呈した。

また、サミット期間における活動を振り返り、今後の活動の参考とするため、協賛企業・団体の方から「サミットを振り返って」をテーマに、坂田北方圏センター交流部主任、五十嵐日本航空札幌支店総務部グループ長、真貝(勲)日本国際協力センター北海道支所研修監理員に、講演をいただいた。その後、活動の記録として撮影した写真を映写した。



### 感謝状（訳文）

〇〇 〇〇 様

あなたは、2008年北海道洞爺湖サミットの成功に多大な貢献をされましたことを、道民会議を代表して心より感謝申し上げます。

ボランティア通訳としてご活躍頂くとともに、温かいおもてなしの心をもって、ご対応いただきました。

ここに深く感謝の意を表します。

平成20年7月25日

北海道洞爺湖サミット道民会議

会長 高橋 はるみ

## 7 プレスワーキングルーム

サミットを取材するために札幌市内に滞在する報道関係者を対象に、インターネット環境を整備したワーキングスペースを提供し、彼らの円滑な取材活動を支援するとともに、北海道情報の提供を行うため、札幌市内に「北海道洞爺湖サミット札幌プレスワーキングルーム」を設置し、期間中の利用者は20名であった。



高橋知事、横内北洋銀行頭取によるテープカット（7/4）

設置場所	札幌市中央区大通西3丁目北洋銀行本店 地下2階(地下鉄大通駅地下コンコース内)
設置期間	平成20年7月5日12:00－7月10日12:00
利用時間	9:00－21:00(初日及び最終日を除く)



北海道情報提供コーナー



ファックス、コピーも完備したワーキングスペース



## 8 空港等における首脳歓迎

### (1)新千歳空港における首脳歓迎

来道する各国首脳に歓迎の意を表すとともに、未来を担う子ども達が各国首脳と触れ合う機会をつくることを目的として、政府が実施する新千歳空港における歓迎行事に積極的に協力した。なお、各国首脳が出発する際の見送り行事は実施されなかった。

#### 【各国首脳の到着日】（到着順）

7月6日	日本、アルジェリア、アメリカ、カナダ、イタリア、欧州連合、世界銀行、ロシア、ナイジェリア、南アフリカ
7月7日	英国、ドイツ、セネガル、ガーナ、タンザニア、エチオピア、アフリカ連合、国際連合、フランス、メキシコ、中国、インド
7月8日	ブラジル、国際エネルギー機関、韓国、経済協力開発機構、インドネシア、オーストラリア
7月9日	国際通貨基金

#### 【地元の出迎え者】

- ・北海道代表者(交替で1名が出迎え)  
知事、副知事、知事室長、知事室次長、北海道議会議長、副議長
- ・地元代表者(交替で1名が出迎え)  
千歳市長、苫小牧市長
- ・児童(交替で2名が出迎え)  
絆プロジェクト応募市町村(※)から19名  
地元市町村(千歳市及び苫小牧市)から6名

※三笠市、壮瞥町、恵庭市、余市町、由仁町、洞爺湖町、美唄市、登別市、真狩村、伊達市、鹿追町、根室市、白老町、帯広市、共和町、札幌市、千歳市  
なお、絆プロジェクトの詳細はP 115 参照

#### 【出迎え方法】

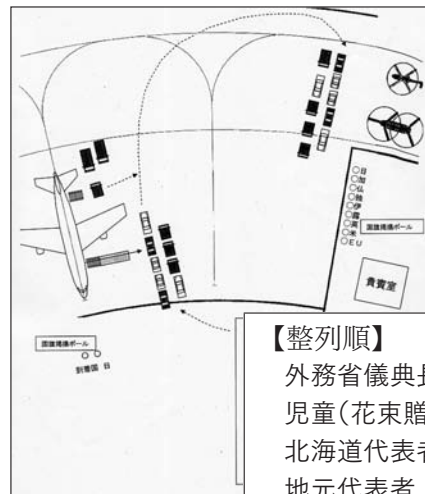
専用機及びチャーター機を利用した首脳は、新千歳空港ターミナルビル南側のVIPスポットに到着した。出迎えに当たっては、児童2名がレシービングラインの最前列に立ち、花束を首脳及び配偶者に渡した。北海道代表者はレシービングラインの3列目、地元代表者は4列目でお迎えした。



福田総理大臣を知事・千歳市長が出迎え(7/6)

商用機を利用した国際機関の代表については、ターミナルビル内のゲート付近で出迎えた。児童が花束を贈呈し、北海道代表者がお迎えした。

なお、児童の参加は昼間のみとし、歓迎行事が夜間・早朝となる場合は、北海道代表者から花束を贈呈した。



#### 【整列順】

- 外務省儀典長
- 児童(花束贈呈)
- 北海道代表者
- 地元代表者
- 航空自衛隊第二航空団司令
- 駐日大使(夫妻)
- 駐日大使館員他
- 新千歳空港長(首脳の先導)



アメリカ大統領を知事が出迎え(7/6)



国連事務総長への児童による花束贈呈 (7/7)

【出迎えの状況】

首脳会議開催の前日となる7月6日(日) 10時40分に福田総理大臣が新千歳空港に降り立った。ホスト国の議長であるため、正式な歓迎行事はなかったものの、知事、千歳市長が地元代表として

福田総理大臣をお迎えした。

続いて、11時28分には、アルジェリアのブーテフリカ大統領が到着。サミット招待国として最初の歓迎行事を実施した。13時25分にはG8の最初の到着国としてアメリカのブッシュ大統領が到着した。



アメリカ大統領夫妻と児童との記念撮影 (7/6)

到着日	国名	出迎え者			
		道代表	地元市代表	花束贈呈児童	
7月6日	日本	高橋知事	山口千歳市長	—	—
	アルジェリア	〃	〃	三笠市立岡山小学校児童	壮瞥町立壮瞥小学校児童
	アメリカ	〃	〃	〃	〃
	カナダ	佐藤副知事	〃	伊達市立大滝小学校児童	鹿追町立鹿追小学校児童
	イタリア	嵐田副知事	〃	恵庭市立恵庭小学校児童	余市町立登小学校児童
	EU	〃	〃	由仁町立川端小学校児童	美唄市立東小学校児童
	世銀(商用機)	越前知事室次長	〃	登別市立幌別小学校児童	真狩村立真狩小学校児童
	ロシア	嵐田副知事	〃	—	—
	ナイジェリア	〃	〃	—	—
	南アフリカ	〃	〃	—	—
7月7日	英国	山本副知事	〃	洞爺湖町立とうや小学校児童	—
	ドイツ	〃	〃	札幌市立真駒内緑小学校児童	千歳市立末広小学校児童
	セネガル	〃	〃	根室市立北斗小学校児童	—
	ガーナ	〃	〃	洞爺湖町立虻田小学校児童	—
	タンザニア	〃	〃	壮瞥町立壮瞥小学校児童	—
	エチオピア	〃	〃	札幌市立真駒内緑小学校児童	—
	アフリカ連合	〃	〃	千歳市立末広小学校児童	—
	国連	釣部道議会議長	〃	根室市立北斗小学校児童	白老町立緑丘小学校児童
	フランス	〃	〃	帯広市立森の里小学校児童	共和町立西陵小学校児童
	メキシコ	高橋知事	〃	—	—
7月8日	中国	〃	〃	—	—
	インド	〃	〃	—	—
	ブラジル	佐藤副知事	岩倉苦小牧市長	千歳市立北陽小学校児童	千歳市立北陽小学校児童
	IEA(商用機)	越前知事室次長	—	千歳市立末広小学校児童	千歳市立向陽台小学校児童
	韓国	鯉谷道議会副議長	岩倉苦小牧市長	苦小牧市立植苗小学校児童	苦小牧市立植苗小学校児童
	OECD(商用機)	江本知事室長	—	—	—
7月9日	インドネシア	嵐田副知事	岩倉苦小牧市長	—	—
	オーストラリア	〃	〃	—	—
	IMF(商用機)	江本知事室長	—	—	—

以降、各国の首脳及び国際機関の代表が相次いで到着し、7月9日(水)9時01分、到着の最後として国際通貨基金専務理事が商用機で新千歳空港に降り立つまで、終日歓迎行事が続いた。



イタリア首相と児童との記念撮影(7/6)



欧州連合委員長を地元児童が出迎え(7/6)

## (2)ホテルにおける首脳歓迎(札幌市内)

札幌市に宿泊した国の首脳及び国際機関の代表者に対しては、ホテル到着時に地元、ホテル等と連携して出迎えを行った。

### 【出迎えを行った首脳】(到着順)

7月6日	世界銀行、ナイジェリア、南アフリカ
7月7日	メキシコ、国際連合、中国、インド
7月8日	ブラジル、韓国、国際エネルギー機関、経済協力開発機構、インドネシア、オーストラリア

### 【出迎え者】

- ・北海道代表者(交代で1名が出迎え)  
北海道議会議長又は副知事、知事室長、公営企業管理者
- ・地元代表者(交代で1名が出迎え)  
札幌市長等札幌市代表
- ・ホテル代表者(交代で1名が出迎え)

宿泊ホテルの代表者

### 【出迎え方法】

出迎え方法については、セキュリティ確保の観点等から、ホテル、外務省、各国大使館等、警察と協議を行って決定した。

関係者による出迎えの他、国旗の掲揚、横断幕の設置、演奏(琴)による歓迎を基本としたが、セキュリティや各国の事情に応じ、ホテル毎にケース・バイ・ケースで対応した。

なお、出迎えの際の通訳は、(財)日本国際協力センターの協力をいただいた。

月日	国名	ホテル名	出迎え者	
			北海道	札幌市
7月6日	世界銀行	ホテルロイトン札幌	江本知事室長	中田副市長
	ナイジェリア	ホテルオークラ札幌	青木公営企業管理者	加藤副市長
	南アフリカ	札幌パークホテル	江本知事室長	生島総務局長
7月7日	メキシコ	札幌グランドホテル	青木公営企業管理者	加藤副市長
	国連	ホテルロイトン札幌	山本副知事	中田副市長
	中国	ルネッサンスサッポロホテル	釣部道議会議長	上田市長
7月8日	インド	札幌プリンスホテル	青木公営企業管理者	小澤副市長
	ブラジル	ホテルロイトン札幌	〃	中田副市長
	韓国	京王プラザホテル札幌	〃	上田市長
	IEA	ホテルロイトン札幌	〃	中田副市長
	OECD	ホテルロイトン札幌	〃	〃
	インドネシア	札幌後楽園ホテル	佐藤副知事	加藤副市長
オーストラリア	札幌プリンスホテル	〃	中田副市長	

## 9 「YOSAKOIソーラン」披露

7月7日(月)夕刻、ザ・ウィンザーホテル洞爺において行われたG8 社交行事において、「YOSAKOIソーラン」が披露され、G8 首脳夫妻に北海道の夏の代表的なイベントを鑑賞していただいた。

道民会議では、外務省からの協力要請に基づき、「YOSAKOIソーラン祭り」組織委員会と協議の上、演舞チームを決定するとともに、出演者等の送迎などの支援を行った。

### 【YOSAKOIソーラン披露の概要】

日時	平成20年7月7日(月)19:20-19:40
会場	ザ・ウィンザーホテル洞爺ロビー向かいの噴水前特設ステージ
演舞団体	「平岸天神」及び「新琴似天舞龍神」合計約200名



平岸天神による演舞



新琴似天舞龍神による演舞

### ・首脳の鑑賞

当日は、小雨が降り、霧がかかる肌寒い気候となったが、G8 首脳はホテルのロビーの外側で傘をさしながら、演舞を鑑賞した。



演舞を鑑賞するG8 首脳

## 10 NGO 対応

### (1) NGO 対応窓口の設置

近年、NGO が環境、貧困、人権などの問題に取り組む中で、サミットの開催に併せて様々な活動を通じて提言を行う機会が増えており、北海道洞爺湖サミットにおいても政策提言についてのシンポジウム、フォーラム、デモ等を行うため、国内外から多くの団体が来道することが予想された。

このため、北海道は NGO との対話の促進及び各種支援等について、関係機関との連絡調整を行う対応窓口を設置するとともに職員を配置した。

また、NGO から北海道、札幌市、伊達市、豊浦町、壮瞥町及び洞爺湖町に対して、宿营地や集会場所の提供をはじめとした支援要請があり、関係市町村と協議の上、円滑な受入れに向け調整を行った。

### (2) NGO に対する宿营地の用意

#### ア 札幌市周辺の宿营地

札幌市におけるデモや集会に参加するため、国内外から訪れる NGO 関係者の宿营地として、札幌市と当別町の2カ所にキャンプ場が設営された。

#### (ア)札幌市

札幌市は、市街地の公園などで大勢が野宿する事態を避けるための緊急避難的措置との位置づけで、同市豊平区の西岡青少年キャンプ場を「特設キャンプ場」として開放した。

宿营地	札幌市豊平区の西岡青少年キャンプ場 ※地下鉄真駒内駅からシャトルバスを運行
開設期間	7月3日(木) - 7月9日(水) ※7月3日から市職員が常駐
利用者数	数名(可能利用者数 1日約400名)
規制	管理・運営や警備は市が行い、利用者に対しては夜間の騒音など周辺住民の生活に影響する行為を規制した。

## (イ)当別町

災害救援ネットワーク北海道は、自ら運営する災害防災備蓄センターを開放した。

宿营地	当別町内災害防災備蓄センター(旧町立中小屋中学校)
利用期間	7月3日(木)～7月6日(日) ※利用予定者の多くが7日(月)以降は洞爺湖周辺に移動するため
利用者数	約150名/日 (可能利用者数 1日約400名)

## イ 洞爺湖周辺の宿营地

### (ア)北海道関連の宿营地

洞爺湖周辺地域においてサミット開催期間中に多くの NGO の来訪が想定され、北海道は、当該期間中の宿泊施設の確保が難しい事情を考慮して、洞爺湖周辺地域の伊達市、豊浦町、壮瞥町及び洞爺湖町と協議の上、2カ所(豊浦町・壮瞥町)の宿营地を用意することとし、主要交通機関における案内対応や対話の促進、宿营地周辺住民への説明会の出席など円滑な受入れに向けた取組を行った。

宿营地	豊浦町森林公園(豊浦町礼文華) オロフレほっとピアザ(壮瞥町字弁景)
開設期間	6月23日(月)～7月13日(日) 利用期間:7月1日(火)～7月10日(木)
利用者数	延べ約850名 (可能利用者数 1日約650名)

### 【円滑な受入に向けた取組】

受入に当たっては、宿营地までの移動に伴う混乱の軽減や宿营地での秩序ある利用が図られるよう、関係機関と十分連携を図りながら、道と4市町が共同で地域ぐるみの取組を行った。

#### 《取組内容》

- ・公共交通機関の主要地点における移動交通案内の徹底
- ・NGO と調整を行う担当者の配置
- ・適正な利用を呼びかけるビラ(和文、英文等)の配布

- ・NGO からの誓約書の提出(宿营地の利用管理の徹底)
- ・関係機関との連絡体制の整備
- ・宿营地周辺住民への説明会の実施  
(伊達市東地区住民説明会、豊浦町礼文華住民説明会、壮瞥町住民説明会)
- ・宿营地を利用した団体  
「G8 サミットを問う連絡会」が、7月1日(火)～10日(木)の10日間、豊浦町森林公園及びオロフレほっとピアザの両宿营地を利用した。

### (イ)その他の宿营地

「反 G8 サミット北海道(アイヌモシリ)連絡会」は、伊達市弄月町の弄月館横の民間牧草地を宿营地として利用した。

## 11 地域の安全確保に向けた取組

### (1) サミットをめぐる情勢

サミットは、国際テロ組織、反グローバルズムを掲げる団体、過激派等がその存在をアピールする絶好の機会といわれており、平成17年の英国・グレンイーグルズサミット開催時には、開催地から遠く離れた首都ロンドンにおいてテロ事件が発生、平成19年のドイツ・ハイリゲンダムサミット開催時には、8万人ともいわれる大規模デモにより交通障害が発生し、サミットの開催運営に支障が生じたとされている。

このことから、道では、サミットに関わる地方自治体及び地域住民などが適切な役割分担のもと、サミットの安全確保に向けた取組を地域ぐるみで展開することとし、「地域の安全確保に向けた取組」を促進していくこととした。

### (2) 地域の安全確保に向けた取組方針

サミットの開催をめぐる諸情勢を勘案し、安全確保を図る上で必要な道の取組として、道の管理施設等(公用施設、公共用施設、主催イベントなど)を対象に、「地域の安全確保に向けた取組方針」を策定の上、道の各部局に周知し、安全確保のための自主的な取組を喚起した。

#### ア 取組期間

平成20年7月1日(火)～7月10日(木)とした。

管理施設等を利用する道民の利便性を考慮し、取組期間を必要最小限度の期間(サミット開催日(7/7-9)の前後10日間)とした。

#### イ 対象地域

対象地域についても取組期間と同様、サミットの円滑な運営支援に必要な最小限度の地域とし、サミット関係者(代表団、報道陣を含む。)の滞在、移動が予想される地域及びその周辺地域を対象地域として設定した。

首脳会議場	伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町
国際メディアセンター	ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町
新千歳空港	千歳市
その他	札幌市

### ウ 具体的な取組内容

各部局(職場)において、安全確保に向けた取組を実施し、地域の安全確保に向け留意すべき事項を盛り込んだ「自主行動マニュアル」(北海道洞爺湖サミット推進局が作成)に基づき、安全確保に向けた取組を各部局等で検討するよう周知を行った。

#### 【例】

- ・「不審者」、「不審物」が容易に発見できる環境づくり
- ・職員等関係者全員による安全確保のための環境の維持
- ・「不審者」「不審物」の発見と警察への通報など

### エ 付随した取組

関係市町村に対しては、「北海道洞爺湖サミット市町村連絡会議」等を通じて道の取組を紹介し、自主的な取組気運の醸成を図るとともに、各部局が関連をもつ民間事業者に対しては、安全確保のための「お知らせ文」を配布するなど、安全確保に向けた取組を地域全体に浸透させた。

### (3) 交通安全

サミット開催期間の前後において、北海道や市町村、交通安全関係団体等が協力して、交通死亡事故等の防止に向け街頭啓発や広報活動など様々な取組を実施した。

また、本道を訪れる外国人がレンタカーなどで安全に安心して道内観光を行うことができるよう、交通ルールなどを解説した多言語DVDの動画をポータルサイトに掲載するとともに、サミットハンドブック(英語版)においても日本の交通規制を紹介するなど、外国人の交通安全に努めた。

## 12 サミット通信

サミットに向けた道民会議の各種取組を紹介するとともに、サミットに関する情報を道民と共有することを目的に「サミット通信」を平成19年12月から計8回発行し、道内全市町村や道民会議構成73団体等に、主にE-Mailにより配信し、併せて道民会議ポータルサイトにも掲載した。

### 【サミット通信発行時期と掲載内容】

第1号	発行	平成19年12月18日
	内容	国の動き、道民会議の最近の取組(シンボルマーク選定、ポータルサイト構築等)、歓迎装飾用共通デザインの周知
第2号	発行	平成19年12月28日
	内容	歓迎装飾、新千歳空港の取組、ガイアナイト
第3号	発行	平成20年1月24日
	内容	国の動き、プレストアー、道内各地域の取組等
第4号	発行	平成20年2月7日
	内容	カウントダウンモニュメント除幕式inJR札幌駅前、冬のまつりでサミットと観光のPR、寄附金のご提供等
第5号	発行	平成20年3月11日
	内容	ガイドブック第2弾、第3回プレストアー、環境総合展受付開始等
第6号	発行	平成20年4月14日
	内容	寄附金のご提供、福田総理大臣ご夫妻の来道、第4回プレストアー、環境総合展、弁当供給試食会
第7号	発行	平成20年5月30日
	内容	事業計画と予算決定(H20)、プレストアー終了、おもてなしクリーンアップディ、ガイアナイト、寄附金のご提供
第8号	発行	平成20年6月20日
	内容	サミット日程発表、ワングリ・マータイ氏来道、通訳ボランティア結団式等

# 北海道洞爺湖サミット通信

発行  
北海道洞爺湖サミット  
道民会議  
[2007.12.18 No. 1]

---

**サミット通信の発行**

来年7月7日から9日まで開催される北海道洞爺湖サミットに向けて、北海道洞爺湖サミット道民会議では、事業計画「2008年夏、北海道が未来の扉になる」に基づき、民間企業等のご協力もいただきながら様々な取組を進めています。

そうした取組を紹介するとともに、サミットに関する情報を皆様と共有することを目的に「サミット通信」を発行することいたしました。

サミットに向けしっかりと取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

**最近の国の動き**

9月4日 **国際メディアセンターをルーツリゾート内に設置することを決定**  
プレスセンター棟と議長・各国首脳会見席棟の併せて延べ面積約11,000㎡の施設が整備されます。

9月26日 **国際メディアセンター整備事業入札公告**

10月19日 **J8(ジュニア・サミット)開催地決定**  
日本政府とユニセフの主催により、来年7月1日から10日まで、支笏湖を含む千歳市で開催されます。G8各国から男女2名(計4名)と非G8の7か国から各1名の若者が、気候変動と地球温暖化、貧困と開発、H1V/エイズ等の感染症について話し合います。

11月29日 **国際メディアセンター整備事業入札(12月3日契約締結)**  
(受注者: 竹中・岩田地崎・伊藤特定JV・日本設計グループ)

**道民会議：最近の取組**

◆歓迎気運の醸成に関する取組

① **シンボルマークの選定**

- ◆応募のあった124作品の中から札幌市在住の郷古幸恵さんの作品がシンボルマークに選ばれました。
- ◆道民会議では、多くの皆様に様々な場面でシンボルマークを使っていたり、歓迎気運をさらに盛り上げていきたいと考えています。詳しくは、道庁サミット推進課のホームページ (<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/shss/>) 又は道民会議のポータルサイト (<http://www.do-summit.jp/>) をご覧ください。

② **公式ポスターの作成**

応募のあった10作品を公式ポスターに決定し、3ヶ月ずつ3つの期間に分けて、道内の市町村や道民会議構成員をはじめ、都府県、各府省、在京各国大使館などに掲出する予定です。

◆情報発信に関する取組

① **道民会議ポータルサイトの構築** (<http://www.do-summit.jp/>)

サミットに関する情報の発信・共有と、環境や、観光などの北海道情報の国内外への発信を目的としたウェブページです。北海道の魅力紹介やサミットお役立ち情報のほか、道民会議からのお知らせをはじめサミットに係る道内情報も積極的に発信していきますので、発信したい情報があれば事務局までお知らせください。

サミット参加各国の紹介Vol. 5

**ロシア連邦 Russian Federation**

新緑が美しい春、日が長く太陽をいっぱい浴びる夏、木々が様々な色に彩られ大地の恵みを感じる黄金の秋、厳しくも白く美しい世界に冬を。広大なロシアは、四季それぞれに楽しみがあり、知る度にその深みを感じさせる国です。北海道にとって最も近い隣国であり、様々な面で関係が深い国。今回は、ロシアについて簡単に紹介いたします。

**【国土】**

ロシアの国土は約1,707万km<sup>2</sup>と日本の45倍、世界最大の国土となっている。人口は2008年1月で1億4,200万人である。首都モスクワは人口1,040万人。85の連邦制構成体と呼ばれる地方行政体からなる連邦国家。ロシア正教のほか、イスラム教、仏教、ユダヤ教等多数の宗教がある。通貨単位はルーブル。補助通貨はルーブルのコピーである。1ルーブル=100コペイカ(6月14日時点で100円=約22ルーブル)。

**【歴史・地理】**

ロシアの歴史は、現在のロシア北西部とウクライナ、ベラルーシにある「ルーシ」という地域がギリシアの福音によって生まれたもの、16世紀のイヴァン4世(雷帝)の頃に比べ始め、18世紀初頭のピョートル1世がロシア皇帝と称したことにより正式の国名になったと言われている。1613年、ロマノフ朝が成立。ピョートル1世による近代化、近代化や首都セントペテルブルクの建設等により基礎を築いた。1917年、ロシア革命によりソビエト連邦社会主義共和国となった。ソ連崩壊後のロシアでは、エリツィン大統領により民主化が進められ、民主主義、資本主義の社会づくりが進んだが、オリガルヒ(寡頭)による経済支配が根深いとされている。また、1998年にはアジア通貨危機の影響を受け、経済危機に見舞われた。

ロシア語のアルファベットは「キリル文字」が使用される。正教の宣教師キリロスとメトディオス兄弟がスラヴ人に布教するためにギリシア文字を元に考案したとされており、キリロスが作った文字であるという意味からキリル文字と呼ばれるようになったこと。ローマ字のRと似ているキリル文字「ヤ」が発音され、キリル文字「P」(発音は「ペル」)がローマ字のRに相当する。「イタラ」がロシア語であることは有名だが、そもそも「魚の刺」の意味、ロシア語で魚のイタラは「魚イタラ」、キヤビアは「魚イタラ」と区別される。

**【経済・産業】**

1998年に経済危機に見舞われたものの、その後急成長。経済成長率が2000年に10%を記録し、その後6%程度。2007年には81%の低い経済成長率を記録したロシアは、原油生産約950万バレル/日(2005年)で世界2位、天然ガス生産は約6,000億m<sup>3</sup>/年(2005年)と世界1位をはじめ、レアメタルにも恵まれており(ニッケル生産世界1位、白金世界2位等)、鉱業生産が産業の軸となっている。石油価格高騰や国内産業の凋落などから、外貨準備高は2008年初めで4800億ドルと中国、日本に次いで第3位となっている。また、エネルギー依存型の経済を克服するため、運輸インフラの整備、ハイテク振興等にも力を入れている。モスクワ、セントペテルブルクなどの大都市圏の発展が目まぐるしく、極東・シベリア方面の発展も進められており、極東・ザバイカル地域の発展計画(地帯的)5,700億ルーブル(約2.6兆円)を予定。2012年にはAPEC首脳会合が極東・ウラジオストクで開催されることとなっており、その開発にも着手している。

ロシアでは、富裕者が増えおきており、フォーブス長者番付(2008年)では、上位20位に4人が顔を連ねる。ロシアトップ(全体で9位)のオレグ・ゲリバスカ(アルミ会社・ルーラル社長)は保有資産2兆8,000億円、2位(全体で15位)のロマン・アブラモヴィッチ(石油会社・シブネフ子)の元大統領は約2兆3,500億円とされる。アブラモヴィッチが2003年にイングランドのサッカーチーム、チェルシーを買収したことは有名。同人は極東のチュート自治管区知事も務めており、同管区の税関の多くは個人によるものと言われる。

**【芸術・文化】**

ロシアは、文学に於いてプーシキン、ゴッゴリ、チェーホフ、トルストイ、ドストエフスキー等、音楽ではグリンカ、ムソルグスキー、チャイコフスキー等、世界に名高い人物を輩出してきた。現在の世界最高峰の指揮者とされるグレンビルは、PMPのため札幌に来たこともあった。昨年4月に死去した国際的チェリスト、ロストロポーヴィッチは親日家としても知られ、寿司が大好きで、来日の際には必ず寿司市場を訪れたという。

食事に關してロシア料理について少々。ロシア料理は、旧帝政ロシアの宮廷料理から各共和国の民族料理までを含んだ幅広い料理。ロシアの宮廷料理は17世紀初頭にフランス宮廷料理人を招いて作られたことに始まる。当時のフランス料理は多くの種類の料理を一度に供するスタイルだったのに対し、ロシアでは料理が冷めないうちに皿を供するスタイルとなり、これがフランスに逆輸入され、現在のコース料理の形式が成立したと言われている。有名な「ボルシチ」、「ピロシキ」の他、魚のスープ(ウシ)、水餃子「ペリメニ」、アルコールはウォッカが有名だが、最近ではアルコール度数の高いウォッカよりもビールを好む人が多く、ビール消費量は増加傾向で、2006年には中国、アメリカに続き世界第3位の消費量(960万キロリットル)を記録している(日本は630万キロリットルと世界第6位)。

**【北海道とのつながり】**

ロシアと北海道とのつながりは、本スペースでは述べきれないほど。北海道とサハリン州との友好・経済協力に関する協定は、今年が締結10周年となる。市町村レベルでも、13市町村がロシアの自治体と姉妹友好提携を締結している。樺太市は1792年初の日露日露ラタスマン一行が来航し、函館は我が国最初のロシア領事館が建設された土地。また、文化面では白老町が民族研究に関する交流を進めている等、歴史・文化的繋がりも太く、経済的繋がりもある。

計8回発行した「サミット通信」。G8各国の紹介も行った。